

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公開番号】特開2010-124513(P2010-124513A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2010-55800(P2010-55800)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月20日(2010.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画像ブロックを有するピクチャのビデオデータを復号化する方法であって、前記ビデオデータは、前記複数の画像ブロックのうちの画像ブロックの符号化データを含み、少なくとも1つの参照ピクチャ・インデックスを含み、

前記ビデオデータを受信する工程であって、前記受信ビデオデータは、前記画像ブロックの前記符号化データ及び前記画像ブロックを予測するための单一の参照ピクチャ・インデックスを含み、前記受信された单一の参照ピクチャ・インデックスは特定の参照ピクチャに対応する工程と、

前記单一の受信参照ピクチャ・インデックスに対応し、重み付け係数の組から求められる重み付け係数を使用して、前記单一の参照ピクチャ・インデックスに対応する前記特定の参照ピクチャを使用して、前記画像ブロックを予測することにより、復号化する工程とを含み、

前記单一の受信参照ピクチャ・インデックスは、前記特定の参照ピクチャ及び前記重み付け係数を定めることを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法であって、予測する工程は、

動き補償ブロックを形成するよう、前記特定の参照ピクチャからのブロックの動き補償を行う工程と、

重み付け動き補償ブロックを形成するよう、前記重み付け係数を使用して前記動き補償ブロックを重み付ける工程と、

オフセットを求める工程と、

調節された重み付け動き補償ブロックを形成するよう、前記オフセットを使用して前記重み付け動き補償ブロックを調節する工程とを含むことを特徴とする方法。

【請求項3】

請求項2記載の方法であって、

前記画像ブロックの前記データに前記調節された重み付け動き補償ブロックを加えて前記画像ブロックを予測する工程を更に含むことを特徴とする方法。